

べっぴん 市議会だより

2019.2.1

No.143



「別府公園での凧揚げ」の様子

CONTENTS

- P2** 主な議案の概要
- P3** 議決結果
- P4** 議案質疑（駅前情報発信カフェの開設について）、常任委員会審査
- P5 ▶ P11** 一般質問（20名が市政を問う）
- P12** 常任委員会行政視察報告、編集後記

図書館・美術館の 一体的整備の実現に向けて

平成30年第4回定例会は11月30日から12月14日までの15日間にわたり開催しました。

今定例会では、市長提出議案25件、議員提出議案1件、請願1件、議員派遣1件の計28件について議決を行いました。

提案理由の説明では、市長から議会に提出された各議案の概要等が説明されたほか、「別府市入湯税超過課税分の使途に関する審議会」等の市政諸般の報告がありました。また、次期別府市長選挙への出馬について言及し、市長就任以来、「市民の心に寄り添う政治」を基本姿勢に、「おくやみコーナー」や「公立幼稚園・小・中学校の空調整備」等を実施したと振り返り、引き続き「図書館・美術館の一体的整備」や「ブルーグリーン構想」等の実現に向け、全力を尽くしていくとの市政に対する思いが述べられました。

「図書館・美術館の一体的整備」については、複数の議員から質疑があり、当局から、下記のような説明がありました。

現在の進捗について

現在、整備構想を策定中であり、年度内に建設候補地、概算事業費と併せて、全体構想としての規模や機能を整理する。

財源や整備時期について

交付金や有利な起債等を活用し、財政負担の軽減を図りたい。また、整備時期は、整備構想を策定中のため、現時点では未確定である。

具体的なイメージについて

例えば、温泉博物館のようなものとの共存、また、現在の美術館との連動を図っていけるような空間をイメージしている。

最後に、議員から、11月に開催した公開会議からも市民の関心の高さが伺えるため、さらにスピードアップするよう要望がありました。それに対し、市長から、できる限り早く、市民等に報告できるよう努めたいとの発言がありました。

なお、採決においては、一部の議員から反対の意思が示された議案もありましたが、採決の結果、全ての議案について、原案のとおり可決（採択）されました。

主な議案等の概要

- **一般会計補正予算（第4号）** ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

子どもの居場所づくりに要する経費…………… 80万円

食事の提供や学習支援等による子どもの居場所づくりを推進する団体に対し、新規開設や機能強化に要する経費の一部を補助します。

観光客誘致・受入に要する経費…………… 1787万円

外国人観光客やラグビーワールドカップ観戦客の受け入れ体制を整えるため、別府駅に情報発信拠点「駅前情報発信カフェ（仮称）」を開設します。

温泉資源保護の推進に要する経費…………… 801万円

温泉資源の保護と適正利用のため、大分県と共同で市内全ての源泉を対象に温泉資源量調査を実施します。

- **その他**

公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について 他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について

別府市と大分市ほか5市1町（臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市及び日出町）の住民がそれぞれの市町にある一部の公の施設を利用できるようにします。

- **請願**

別府市手話言語条例制定に関する請願

手話や聴覚障がい者について、市民が学び、理解し、ろう者が安心して暮らせる別府市となることと、ろう者が意思疎通のための手段に手話を選択できる機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段に手話を選択できる機会の拡大を図ることを目的に条例の制定を求めます。

第4回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第96号	平成30年度別府市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 (全会一致)	議第111号	土地の売払いについて（別府商業高等学校の解体跡地）	原案可決 (賛成多数)
議第97号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		議第112号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	原案可決 (全会一致)
議第98号	平成30年度別府市競輪事業特別会計補正予算（第2号）		議第113号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について	
議第99号	平成30年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		議第114号	指定管理者の指定について（別府市コミュニティーセンター）	
議第100号	平成30年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）		議第115号	指定管理者の指定について（総合体育館）	
議第101号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		議第116号	指定管理者の指定について（別府市社会福祉会館）	
議第102号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について		議第117号	指定管理者の指定について（別府市のヶ浜駐車場）	
議第103号	別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について		議第118号	指定管理者の指定について（竹瓦温泉及び北浜温泉）	
議第104号	別府市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第119号	指定管理者の指定について（別府海浜砂湯）	
議第105号	別府市春木川ふれあい交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について		議第120号	指定管理者の指定について（別府市市民ホール）	
議第106号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議員提出議案第9号	認知症施策の推進を求める意見書	
議第107号	別府市布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について		請願第3号	別府市手話言語条例制定に関する請願	採択 (全会一致)
議第108号	別府市火災予防条例の一部改正について		報告第13号	市長専決処分について	報告
議第109号	工事請負契約の締結について（旧別府市美術館解体工事）			議員派遣	
議第110号	事業契約の締結について（別府市亀川地区市営住宅集約建替事業）		原案可決 (賛成多数)		

賛否の分かれた議案等

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民・創生							新風べっぶ			公明党		市民クラブ	自民クラブ	志士の会・自民	日本共産党議員団	桃花善心の会							
			江藤彦彦	三ヶ尻正友	野口哲夫	国実久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	山本一成	松川章三	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重忠昭	首藤正則	河野数則	松川峰生	黒木愛一郎	平野文浩
議第109号	工事請負契約の締結について（旧別府市美術館解体工事）	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第110号	事業契約の締結について（別府市亀川地区市営住宅集約建替事業）	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第111号	土地の売払いについて（別府商業高等学校の解体跡地）	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により、採決に加われない議案は「除」

平成31年第1回定例会（予定）

- 2月27日 議案上程
 - 3月4日 議案質疑、委員会付託
 - 5日 常任委員会審査
 - 11日 常任委員会委員長報告、討論、表決
 - 12日～14日 予算決算特別委員会
 - 15日・18日～19日 一般質問
 - 20日 予算決算特別委員会委員長報告、討論、表決
- ※日程は変更することがあります。

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。ただ、議事事務局までお問合せください。なお、平成31年第1回定例会の請願の受付期限は2月19日(火)17時までです。

傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階にお越しください。傍聴席は80席あり、車いす用スペースも6台用意しております。

聴覚障がい者の議会傍聴については、手話通訳・要約筆記の対応しております。傍聴を希望される方は、傍聴の3日前までに議事事務局にお申込みください。

議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成30年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、12月5日に5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

駅前情報発信カフェ(仮称)の開設について

問 入湯税超過課税分の使途として、駅前情報発信カフェの運営とあるが、その経緯は。

答 来年開催されるラグビーワールドカップや増加している外国人観光客の観光案内所として、ニーズを聞きながら、観光情報や交通機関等の情報を提供することにより、滞在期間の延長や消費額の増加を目指すものです。また、情報の交換や集積の場、さらに、口コミやSNS発信による観光情報の発信の場となることを期待しています。このほか、熊本地震を教訓とし、自然災害発生時における具体的な行動に関する情

報提供についても想定しています。

問 運営はどこが行うのか。

答 別府市産業連携・協働プラットフォームB・i・z LINKへの委託を予定しています。

問 現在、駅構内に観光案内所があるが、将来も運営していくのか。

答 当面継続を予定していますが、利用状況の推移を見ながら検証していきます。また、駅前情報発信カフェについては、ワールドカップ後も継続し、民間事業者との連携によって収益化を図り、将来的には民間事業者による運営を目指します。

他の自治体では、観光協会の観光案内所が主である。観光協会との事業を整理すべきである。

また、将来的には、一カ所にまとめることが望ましい。

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成30年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

総務企画消防委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第4号)
- ・別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について

ほか10件

観光建設水道委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第4号)
- ・別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

ほか6件

厚生環境教育委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第4号)
- ・別府市手話言語条例制定に関する請願

ほか7件

採決においては、一部の議員から反対の意思が示された議案もありましたが、採決の結果、全ての議案について、原案のとおり可決(採択)すべきものと決定しました。

なお、委員長報告は、別府市議会ホームページで公開しています。

「市民と議会との対話集会」

「べっぶ市議会だより No.141(2018年11月1日発行分)」の12ページで、「市民と議会との対話集会」の開催について、掲載しました。団体との協議のなかで、重要と認められる事項について、11月9日、議長から市長へ要望書を提出し、対応を求めました。

なお、要望書及び「市民と議会との対話集会」の詳細は、別府市議会ホームページで公開しています。



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では20名の議員が市当局の見解をたずねました。主な内容は次のとおりです。

南部地区の振興対策について

自民クラブ

首藤 正 議員
しゅとう ただし



問 旧南小学校跡地活用計画の進捗状況はどうなっているのか。跡地前の道路（浜脇〜秋葉線）の事業認可の時期はいつ頃になるのか。また、道路拡幅工事の開始と立ち退き住民の軒数はどのような状況になるのか。

答 跡地活用は複合公共施設、広場、住宅用地を整備する計画を進めています。事業者の選定を10月から募集開始しており、事業提案書を平成31年1月中旬で締

め切り、業者を決定します。跡地前の道路は、県へ事業認可申請中で、今年度中に取得予定です。事業認可の概要は起点を県道別府狭間線交差点西側とし、旧南小学校前を通り、永石通りまでの540mを第一期工事として申請しています。事業期間は約10年間を予定しています。この区間終了後、引き続き、終点秋葉通りまでの事業を行います。立ち退きの住宅は50件程となる予定です。

問 南部地区の総合的な振興活性化の成果を得るには、周辺の環境を整え、生活や福祉の向上を図る上で、交通体系の整備改良が必要であるが、どのような対策を考えているか。

答 南部地区公民館横の20m道路を延長して、国道10

高齢者ファミリーサポートセンター

公明党

穴井 宏二 議員
あない こうじ



問 高齢者の方で、介護認定を受けるまではいかないが、一人住まいで高齢になったため、自宅の草刈りや、掃除、買い物、ごみ出しなどが大変になってきた。このように介護サービスでできないことについて、大分市では、高齢者向けのファミリーサポートセンターを設置し、登録会員同士で1回につき700円

など、有償により援助し合う仕組みを作っている。このことについて、別府市は

どう考えているか。

答 別府市においては、大分市と同様の事業は、行っていない。支援や介護が必要な方については、必要に応じて訪問介護サービスを受けることができますので、そちらを案内しています。しかし、介護保険の性質上、必要最小限のサービスを受けるようになっていくため、それ以外については、つなげられる機関があれば、ご案内をしています。

問 介護保険が使えない人などの谷間で困っている方々へのサービスの受け皿として、高齢者ファミリーサポートセンターを設置したらどうか。

答 既にあるシルバー人材センターの活用など今ある資源を注視しつつ、ファミリーサポート制度のような市の単独事業の必要性については、今後とも調査研究してまいります。

海浜砂湯の改修事業について

新風べっぶ

山本 一成 議員
やまもと かずなり



問 海浜砂湯改修事業の進捗状況は。

答 この事業は民間活力を導入するPPP事業として進めており、施工業者の公募から事業契約の締結に至るまで、一連の手続きの業務支援を行うアドバイザリー契約を行いました。現段階として、そのコンサルタント会社と実施方針等の書類を作成しながら、公募に向けて準備をしているところです。

問 今後の予定は。

答 平成31年1月以降、公募を開始したいと考えています。その後、プロポーザル方式で候補事業者を決め、議会の議決を得た後、事業者と契約を行い、事業

に着手する予定を考慮していません。事業期間は設計施工を含めて2年ほどを見込んでいますので、2021年頃に竣工の予定です。

問 海浜砂湯はどんなものを想定しているか。

答 主には旧美術館解体後の跡地を中心に海浜砂湯の規模を拡大し、設備の充実、魅力ある施設を建設したいと思えます。また、場所が上人ヶ浜公園であることから、公園としての価値を損なわないこと、海辺の景観の確保や貴重な黒松は傷めないこと等、条件に盛り込んでいくところです。

幼児教育無償化への準備

公明党

市原 隆生 議員



問 消費税10%導入が予定されている来年10月、幼児教育・保育の無償化も合わせ

せてスタートする予定となっている。無償化によって、新たな保育希望者も出てくるのではないかとと思われる。待機児童の問題も含めて、今、どのような準備をしているのか。また、放課後児童クラブについても、どのような準備を進めているのか。

答 まだ未確定の部分も多く、詳細については、確定次第対応を進めることとなります。しかし、幼児教育・保育の無償化が導入されることにより、女性の就業も促進され、それに伴う保育希望者は当面増加することが予想されます。そこで、既存の認可保育園の定員拡大を図ると同時に、保育士の負担軽減や、保育士不足を補うための支援ができないか検討しています。また、放課後児童クラブについて、現在、待機児童・児童はいません。しかし、幼稚園児・小学生ともに希望者は全て受け入れ、利用園児・児童数の多い施設については、クラブの分割や新設も視野に入れながら、支援員の確保にも力を入れ、

待機児童を発生させないという目標を持って取り組んでいるところです。



猿による農作物の被害について

新風べっぶ

松川 章三 議員



問 近年、別府市における猿による農作物の被害はどうか。

答 猿の被害は、浜脇地区、西地区を中心に発生しています。推定被害額は約400万円程度は横ばい状態です。

問 高崎山の猿B群、C群ともに寄せ場に出現していない異変が起きており、C群の出現日数が減少している。C群が高崎山から離

れ、周辺の農地に被害を及ぼさないか心配されるがどう思うか。

答 大分市によると、現在B群は高崎山の由布市側に生息しています。C群は別府市側に生息しており、C群が柵外に離脱している状況はほとんど確認できていない状況です。

問 高崎山では、かつてのA群がC群との覇権抗争に敗れ、園外に逃げ、付近の農作物を食べる「猿害」が多発した。今のC群はその時と似ている。別府市側に住むC群が消滅することになれば、最悪の結果になる。被害対策の取り組みはしているのか。

答 対策としては、①餌場をなくす②追い払いをする③捕獲による個体数の減少を図る。捕獲については、大分県、大分市、高崎山管理公社と協議を重ね、捕獲期間を延長するとともに、大型捕獲器2基を設置しました。大分県や県猟友会がドローンを活用した実証実験も行っています。

特別支援が必要な教育環境について

自民・創生

阿部 真一 議員



問 近年の学校現場の環境変化により、学習支援や健康・安全確保のため、特別な支援を必要とする園児児童生徒がいる。平成17年から文科省より導入されている現在の支援員の人数及び支援を必要とする園児児童生徒数の近年の推移は。

答 いきいきプラン事業に配置されている支援員はこの3年間、48人です。支援を必要とする園児児童生徒数は平成28年度565人、29年度605人、30年度654人です。実際に支援員が支援している数は平成30年度においては215人であり、支援を要する数の33%となっています。

問 特別支援が必要な園児児童生徒は増加傾向にある

が、支援員を配置することに対し、保護者の同意が得にくい場合もある。福祉保健部との連携を強化し、小学校低学年から手厚い支援をすることで、高学年になつたときに成果が出るのではないかと考える。今後、教育委員会として、支援員の拡充など特に低学年に重きを置いた制度の強化はできないか。

答 支援が必要な子どもに対しては、低学年から中学生まで、その時々状況に応じた支援をする必要があります。学習上または生活上の困難を克服し自立を図るため、保護者の理解を得ながら、早い段階からの支援に努めていきます。

地熱開発について

新風べっぶ

野上 のがみ
泰生 やすお
議員



問 別府市で行われる地熱

開発の事前審査を行う審議会に住民やまちづくり組織の代表を入れてほしい。

答 一般の住民には馴染みのない専門的な審議を行うので難しいと考えます。

問 発電設備設置に伴うトラブル予防のための事業と地域の合意形成の場に市が主体的に関与してほしい。

答 現行の条例でも事業者に住民説明会の開催を求めています。地元住民から要望があれば、事業者に働きかけます。

問 審議会には観光や商工の代表者が参加している。住民やまちづくり組織の代表が専門的な審議が難しいという理由が分からない。合意形成の場について、住民からの要望があれば、市は対応するという部分はしっかりと条例等にも市の責務として明記すべきである。では、市内で行われている地熱バイナリー発電事業は順調に推移しているか。

答 稼働状況にある26件の

中で14件が停止しています。

問 事業の過半が問題を抱えている状態であり、問題発生時の対応が不安である。仮に撤退した場合に残された設備はどうなるのか。

答 経産省がガイドラインを基に事業計画認定時にチェックを行っています。本市条例にも撤去時の確認を定めています。

旧南小学校の跡地と道路拡幅について

自民・創生

萩野 はぎの
忠好 ただよし
議員



問 南小学校が開校して17年になるが、その後の跡地利用の現状は。

答 体育館は卓球やフットサル、グラウンドはグラウンドゴルフ、少年野球、駐車場は南小学校や放課後児童クラブに貸し出しています。

問 一般の市議会で、市の計画では、3階建ての複合公共施設、広場、住宅用地とし、10月から募集し、業者を選び、予算等により2021年までに完成したいと聞いている。旧南小前の道路は歩道がない。整備される道路の拡幅や歩道は。

答 都市計画道路の幅員は16mで、歩道については両側に自転車歩行者道3mを予定しています。

問 事業を進めていく中で地元住民への対応をしっかりとしてほしい。地元住民への説明はどうするのか。

答 事業者が決まり、計画内容が示せる段階で住民への説明を行う予定です。

問 今後は、別府市の一方的な考えではなく、周辺住民への説明が重要となる。今後はどのように進めるか。

答 まずは事業認可後、測量等の実施前に説明会を開催する予定です。

問 都市計画道路は浜脇か

ら永石通りまでの一期工事で10年間、二期工事を含めた全線開通まで長期間要すると聞いているが、早く完成するようお願いしたい。重要な対応は。

答 特に用地買収の対象となる地権者等には事前に十分な対応をします。

長野市政を振り返って

自民クラブ

河野 かほの
数則 かずのり
議員



問 B・biz LINKについては、一般社団法人であるので、商売ということからいえば、儲けることが重要であると考える。現在までの実績、現状、将来について聞きたい。

答 B・biz LINKは平成29年9月に設立され、起業、創業、人材育成、販路拡大支援、移住定住、観光地域づくり推進などの

事業を目的として事業展開
しています。

問 高齢者移動支援、みんなのタクシー実証実験であるが、期限を決めて検証結果を検討し、2つの課に渡っている担当課が連携を深めて、より良いサービスを提供すべきではないか。

答 今後におきましては、企画と福祉の担当課で施策の体系は異なりますが、目指すところは市民生活の質の向上でありますので、連携をして事業を行っていききたいと思います。

問 別府竹細工や竹製品の宣伝やPRが先行して行われているが、別府の竹林を整備して、別府産の竹製品を増やさなければ、真の別府竹製品の販路拡大につながらないのではないか。

答 将来的にはブランド力の向上と別府の竹林整備を行い、別府産竹製品を増やしていくことを両立させながら広めていきたいと思えます。

地球温暖化対策
「森林整備」公共交通

市民クラブ

森山 義治 議員
もりやま よしはる



問 日本の温室効果ガスの削減目標の達成や災害防止を図るため、平成31年度より管理が行き届かず放置されている森林整備に対し、国が森林環境譲与税を新設する。その税を各市町村に譲与する制度が開始されるが、今後の施策をどのよう
に考えているか。また、金額は。

答 今後の施策として観光地周辺の個人所有の森林整備や林道、また作業道の補修等をするとともに、森林所有者へのアンケート調査を実施していきたいと考えています。交付金は平成31年度から33年度が約720万円、34年度から36年度が約1080万円の予定です。

問 南部地区など路線バス

の運行系統や運行回数が少ない地区に対し、地域公共交通活性化再生法に基づく、今後の交通再編事業をどのように考えているか。また、扇山地区など急勾配で坂道の多い公共交通空白地に対して、グリーンズローモビリティの実証運行を検討してほしいが、どのように考えているか。

答 今年度には公共交通再編実施計画を策定予定であり、交通事業者とヒアリング協議をさらに進めていきます。また、実証運行については、先進地における実証運行後の調査等を行いたいと考えています。

別府市の情報公開、
補助金の実績報告

自民・創生

安部 一郎 議員
あべ いちろう



問 プロポーザルにおいて、業者選定をした関連資料を情報公開制度で資料請

求をした。しかし、選定過程の会議録、協議録がなかったものが存在した。さらに、開示された資料も黒く塗りつぶされていた。県内の他市は非公開どころか全部公開している。会議録や協議録は意思決定を見るためにも公開を義務化してほしい。今後、情報公開をどうするのか。

答 他の自治体の状況を参考にしながら、改善すべきところがあれば、改善していきたいと思えます。

企業の提案書、実績、見積書、審査の詳細、また協議録を見ることができなければ、議員はどのようにしてチェックすればよいのか。また、ホームページ上に出ているものが、どうしても情報公開で出せないのか。どこをもって企業の不利益になるというのかかわり方が本当にいいかどうか、第三者機関に不服申し立てをしたいと思う。

問 事業の実績報告のない中で、来期の予算が決定さ

れている。信じられない。補助金等交付指針を見直すべきである。

答 事業終了後1ヶ月以内に提出するように見直ししました。

母子を大切に
愛されるまち

桃花善心の会

竹内 善浩 議員
たけうち よしひろ



問 児童の支援団体について、別府市独自の事業展開や連携はどうか。

答 児童生徒の相談支援団体「チャイルドライン」代表から話を聞きました。毎年2回の相談カード配布時に、「何でも話していいよ」「安心して電話していいよ」と、ひと言声掛けを先生からこどもたちに、との助言をいただき、校長会議や教頭会議の場で紹介しました。

NPO法人等の民間団体

との連携は重要であり、学校やPTA等で取り組んできました。

これからこの教育部門と保健福祉部門は、教育関係は学校教育課が、福祉保健関係は福祉政策課が窓口となり、各課につき、関係団体と連携し、市政の充実に努めていきます。



問 海外にいる大学卒業生は、別府を愛する応援団と思う。地元大学と別府市の連携はどうか。

答 3月に学生大同窓会を開催します。著名人のシンポジウムや一般市民の皆さまの参加プログラムを計画しています。

学生大同窓会は、「湯ヶ園地」のDNAを継ぐ別府独自の事業です。大学、地元企業、市民、行政の4者がしっかりとした連携で、市民皆さまの新しい別府の創造につなげていきます。

市営温泉の収支状況、設備の格差

自民・創生

くにざね ひさお
国実 久夫 議員



問 市営温泉の収支状況は。

答 市営温泉16施設の収支状況ですが、直近2年間の比較をしますと、平成28年度が約1億1600万円の赤字、29年度が約1億1500万円の赤字です。入浴料収入に対し、管理経費等が上回っている状況です。

問 各施設によって、浴槽の種類やシャワー等の設備の有無等が異なる理由は何か。

答 施設によって設備の状況が異なる点については、市営温泉の入浴料金が低めの設定であることに加え、収支状況も厳しい面があり、入浴料金の体系により提供できる設備内容が異なっているのが現状です。

今年度は、浜脇温泉のあつ湯・ぬるま湯の二槽化工事の実施を行いました。今後も設備の充実については、入浴者のニーズのほか、施設の建築年数、設備改修後の管理経費等も含めて考慮の上、計画的に対応を進めていきたいと考えています。

そこで、不老泉は16施設の中でもトップの入浴者数である。海門寺温泉より後にできた施設でありながら、シャワーの設備が1つしかないというところは納得できない部分があるとの意見がある。どうか早急にシャワーを増やすことを要望する。

いじめ（不登校）問題について

自民・創生

のぐち てつお
野口 哲男 議員



問 文科省からいじめ不登校等についての調査結果が発表され、認知件数が大幅

に増加した、その内容は。

答 小中高を合わせ41万4千件超、大分県は5千2百件超、別府市は小中で358件となっています。全国的に増加した原因は、文科省通達が些細な事象もいじめを見逃さず、的確に把握するように求めたためです。

問 別府市の過去3年間の実態は33%減となつている。学校現場の取り組みが評価されるが、パソコンや携帯電話による誹謗中傷等が深刻な問題になつており、親も先生も気付かない所で進行している。別府市での事象とその対応は。

答 本年度、そのような事象があり、インターネット上のいじめの予防を指導し、発見次第、教員や保護者で対応できる体制を作っています。

問 他県ではいじめ防止スローガン等を決め、未然防止策が功を奏している。今年度、県がスクールロイヤー（弁護士）活用事業を始めた。別府市の対応は。

また、いじめ防止基本方針をさらに見直しし、行政と一体となつた対策を取り、条例化も検討し、道徳教育を充実すべし。

答 スクールロイヤーは迅速性に課題があり、素早く相談できる仕組みになるよう改善を要望していきます。別府市としても道徳の充実等、行政と一体となつて、いじめ不登校の防止に取り組みしていきます。

高齢者のひとり歩き安全対策について

公明党

あらかね たくお
荒金 卓雄 議員



問 大分県警のメール「まもめる」で、事件、不審者、行方不明者等の情報配信がある。近年は、認知症を伴う高齢者の行方不明事案が増加している。別府市内の発生件数は。

答 別府署に確認したところ

ろ、平成29年度が5件、同30年度が17件です。ただし、通報があっても届出書を提出するまでに発見される場合があり、実際はもっと多く発生していると思われま

問 別府市が取り組んでいる安全対策の中で、オレンジスアッカー交付事業の概要は。
答 平成29年3月から、ひとり歩きのおそれがある高齢者に対し、番号を記載したオレンジ色のステッカーを交付しています。靴や杖等に貼って、行方不明者の早期発見や発見後の緊急連絡先へスムーズにつながる一助になるツールとして活用しています。

問 家族からの申請以外に、認知症ぎみの一人世帯者の申請方法は。
答 認知症の症状がある場合、地域包括支援センターの支援により申請手続きが可能

問 多くの市民にオレンジステッカーの存在と意味を知ってもらうことが重要

だ。市民への周知のための取り組みは。

答 出前トークや関係講座で案内を続けています。また、「認知症地域資源ガイド」を作成し、認知症を正しく理解する取り組みを続けています。

図書館・美術館の
一体的整備について

志士の会・自民

まつかわ 松川 峰生 議員



問 11月16日開催のオープンプラットフォーラム会議の目的は。
答 図書館・美術館を核に多様な人々が活動するオープンな交流拠点となる新しい公共空間を創出するため、4つの団体・個人が各々のプレーヤーの視点で、まちの魅力を生み出す具体的なアイデアやイメージを膨らませるビジョンを発表しました。事業や活動

を行うプレーヤーの視点で整備構想を進めていく手法は新しい試みです。アンケート結果から、従来の公共施設とは異なる新しい公共空間の創出について整備構想のイメージが共有できたと考えています。

問 アンケート結果から、市民の期待も大きく、早い時期に具体的な姿や事業進捗の報告をして欲しい。

答 図書館・美術館一体的整備は今後の最重要課題であると考えています。整備にあたり三つの重要なポイントがあります。①国等の力を借りて、いかに事業費を捻出していくか。②単に本を読むだけの図書館は減少している。今後は多様な課題解決を図る機能や空間を創ることが必要となる。③その施設には様々な方が関わっていたり、残している宝物を創りたいと思っ

ています。成果の報告は、場所の決定も含めて、なるべく早くご報告できるように努めます。

終活支援事業について

公明党

ほりもと 堀本 博行 議員



問 終活支援事業はエンディングプランサポート事業（葬儀生前契約支援事業）ともいう。支援内容はひとり暮らしの高齢者が市に相談した後、市と相談者と相談者が自ら選んだ葬祭事業者と3者で「葬儀」「納骨」「リビングウイール」の4項目を明確にして、生前契約を結び、支援プランを作成する。また、葬儀費用の支払いも済ませておくという。市と葬祭事業者は、対象者の情報を管理し、市は支援プランに従い、登録カードを発行し、定期的に安否の確認もする。対象者が万一の場合には、葬祭事業者が生前契約に従い、葬儀等を進める。最終的に市は、契約通り履行されているか確認を行う。このよう

な事業を別府市も行うべきでは。

答 別府市では、「別府版の終活支援ノート」を民間企業と共同で作成しました。これは、今後の生き方を考えるきっかけ作りになることを目的に作成し、希望者に配布しています。

問 終活支援ノートはきっかけ作りに過ぎず、行政主導で対象者の不安を解消させる必要があると考えるが、どうか。

答 死後の葬儀や納骨の不安を解消するための効果的な取り組みであると考えます。他市の取組状況を参考に、鋭意調査・研究をしていきます。

別府市の財産の
利活用について

新風べっぶ

おの 小野 正明 議員



問 別府市では現在「公共施設マネジメント」を進めており、公共施設にかかる費用を今後30年間で30%以上圧縮するという目標を掲げている。これを達成するには、これからは市の財産を見直して、今まで以上に売却、貸付などを増やして、財源を確保していかなければならないと考えるが、現在どのように取り組んでいるのか。

答 使用目的がなくなった財産の一つの流れとして、市内の「財産活用推進会議」に諮り、売却、貸付を行っています。ここ最近では売却は年間7175万円、貸付は7698万円となっています。

問 今後、「公共施設マネジメント」の進展により、未利用となる施設も増えていくが、この場合どのような手続きで検討するのか。

答 「公共施設マネジメント推進会議」で有効活用を考えていきます。

問 現在、各課が保有して

いる土地建物を一元的に管理して、その利用状況をチェックする機関が必要ではないか。そうしないと有効利用されているのかの判断ができない。

答 公民連携課において、一元的に管理を行うことは難しいですが、今後は使用可能な建物をそのまま売却することも含め、柔軟に考えて、市の財源確保に努めていきます。

成年後見制度、教職員の超勤と確保、親亡き後問題、民生委員の負担軽減

市民クラブ

三重 忠昭 議員



問 認知症を患う方が今後増加することが予想されている。支援の相談窓口として、成年後見センターの設置が必要であると考えるが。

答 喫緊の課題であり、関係機関と設置に向け協議し

ていきます。

問 教職員の超勤・多忙化の大きな要因の一つとなっている部活動において、部活動指導員の配置を早急にすべきではないか。

答 教職員の負担軽減に有効であり、協議をしています。

問 新学期が始まって、先生が不足欠員となっている状況があり、大きな問題である。県に対して、人員配置採用の在り方も含め、強く要請をすべきではないか。

答 市町村教育長会議や各種機会を捉えて、強く要請していきます。

問 障がいのある方の親が亡くなった後の支援体制は進んでいるか。

答 生活支援の充実、社会参加の場、相談体制の充実、地域ネットワークづくりなどを進めています。また、基幹相談支援センターを4カ所設置し、相談体制

の強化を図っています。

問 民生委員の負担軽減の取り組みは進んでいるか。

答 住民情報に基づき、直接訪問、確認、見守りができる整備を進めています。

高すぎる国保税、教育行政について

日本共産党議員団

平野 文活 議員



問 給与収入400万円、子ども2人の4人家族という同じ条件で試算したら、国保、協会けんぽ、市職員共済それぞれの保険料額はいくらになるかを示してほしい。

答 国保では57万3400円、協会けんぽでは24万1332円、市職員共済では22万2636円になります。

問 国保は2倍以上高い。

なぜかというところ、国保には所得割のほかに、他の保険にない平等割(世帯割)や均等割(人数割)があるからだ。しかも、別府市の所得割と均等割の税率は、県下の他市に比べても高すぎるため、異常に高すぎる国保税となっている。国や県に負担増を求めると同時に、市独自でも一般会計から法定外の繰り入れをして、市民が払える国保税に改善すべきではないか。

答 市独自の繰り入れはできませんが、国や県には負担を求めています。

問 産休育休や病休の代替教員の確保は依然として困難である。過労死ラインといわれる月80時間を超える時間外勤務を余儀なくされている教員数は、今年の調査でも改善されていない。国や県への要請はどうか。

答 近日中に県教委に対して、各種加配教員の増員、30人学級拡大などを強く求めることにしています。

行政視察

常任委員会では所管している分野に関する知識を深め、さらなる調査を進めるため、他自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行っています。



総務企画消防委員会 平成30年11月12日～14日

視察項目

- ・公民連携の取り組み、新神戸ロープウェイ再整備等事業（実地視察）【兵庫県 神戸市】
市と事業者が対等なパートナーとして互いの強みを活かすことで、市民サービスの向上や行政コストの見直し、さらには地域経済の活性化を推進する。
- ・コミュニティタクシー及びグループタクシー事業【山口県 山口市】
交通不便地域における買い物などの移動手段を確保するため、住民主体でのタクシー運行やタクシー利用券を交付する。



観光建設水道委員会 平成30年7月4日～5日

視察項目

- ・伝統的工芸品のブランド強化・販売戦略【大阪府 堺市】
販路開拓とそれに伴う商品改良を支援することにより、「ブランド強化」「地域経済の持続的発展」「都市魅力の向上」を図る。
- ・観光立国ショーケースにおける観光戦略【石川県 金沢市】
※平成30年7月豪雨により、金沢市の視察を中止しました。



厚生環境教育委員会 平成30年5月7日～9日

視察項目

- ・中学校への部活動指導員の配置【京都府 舞鶴市】
専門知識・技能を有する部活動指導員を配置し、教員の部活動指導に係る負担の軽減、並びに競技力や技術の向上など部活動の質的な向上を図る。
- ・夢ある子ども育成事業【福井県 越前市】
未来を担う子どもたちが夢を持ち、夢に向かって努力することの大切さや素晴らしさについて学ぶ機会を設ける。



※常任委員会の行政視察報告の詳細は、別府市議会ホームページで公開しています。



編集後記

当委員会では、市民と議会との対話を促進するための集会を企画しています。最近、市内の中学校に訪問し、生徒さんと議員の対話集会を企画しました。

生徒さんにしてみると、親よりも年齢の高いおじさん達（現在、市議会には女性はいません。）と、果たして何を話せばいいのだろうか？と戸惑ったのではないのでしょうか。

実は、おじさん達も大いに戸惑いながらも、議会では決して見せない笑顔と話術を駆使して、一生懸命に頑張ったのです！

最後は、各班の代表の生徒さんが、その日の話し合いの成果を発表し、仲良く一緒に記念撮影をしたのでした。

このような取り組みを通じて、議会が身近になると嬉しいですね。一瞬でも、「議員もいいかも！」と思ってくれたら、最高です。

広報広聴委員会

副委員長 野上 泰生